

三菱化工機グループ2050経営ビジョン 内容の一部アップデートについて

2026年5月15日

MORE Sustainable, KEEP Innovating for a KINDHEARTED Society

三菱化工機グループ2050経営ビジョン 内容の一部アップデートについて

連結売上高1,000億円への到達時期を2029年度へと6年前倒し、2035年度の売上高を1,200～1,400億円へ上方修正

●アップデートの目的

- ▶ 当社の長期的な成長展望に関するメッセージを的確な内容に維持するため

●アップデートのポイント

- ▶ 2050年を見据えた経営ビジョンのマイルストーンとした2035年度の事業規模等に関するアスピレーション計数(展望計数)を、前倒しならびに上方修正するもの

項目	2021年策定時	今回アップデート後
2029年度 連結業績	(設定なし)	売上高1,000億円 うちGX事業3割程度 営業利益率10%程度
2035年度 連結業績	売上高1,000億円 うち新規事業5～6割 営業利益率7～8%	売上高1,200～1,400億円 うちGX事業4～5割 営業利益率10%程度

前倒し

上方修正

- ▶ 上記計数面以外の変更は無し

●アップデートの背景

- ▶ 2021年以降、当社事業環境の構造的変化、ならびに経営戦略の進展により、事業規模が当時想定以上のペースで伸長・底上げされる一方、ビジョン実現への道筋も、前倒しでより明確になってきたとの認識
- ▶ これを受けて、「創立100周年の2035年度に売上高1,000億円を目指す」としたアスピレーション計数の見直しが適切と判断

①当社を取り巻く事業環境の構造的変化の例

- ✓ 国内外の物価上昇等を背景に、EPC案件※1の単価が大きく上昇
- ✓ コロナ禍収束後、世界の海上輸送量の増加基調が回復
- ✓ 本邦の脱炭素社会構築に関し、関連法整備も進み当社ビジネス機会が増加

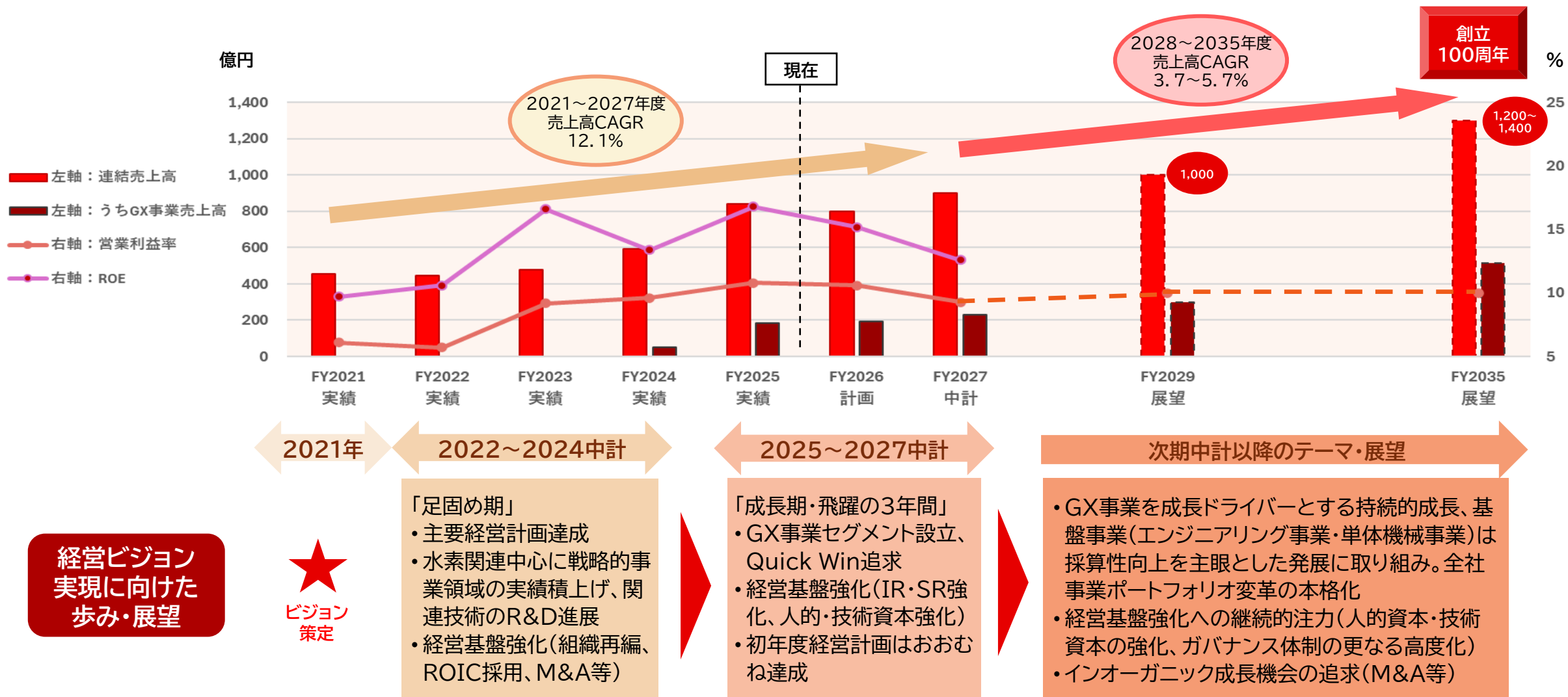
②当社経営戦略・事業戦略の主な進展

- ✓ 経営ビジョン実現の「足固め期」と位置付けた前中計では主要目標を達成
- ✓ 経営ビジョン実現の「成長期」と位置付けた今中計では、GX事業を立ち上げ成長事業を明確化。初年度目標をおおむね達成
- ✓ 単体機械事業において、当社油清浄機の世界シェアは30%台から50%程度へと伸長※2。また船舶環境規制対応機器ビジネスの本格寄与開始

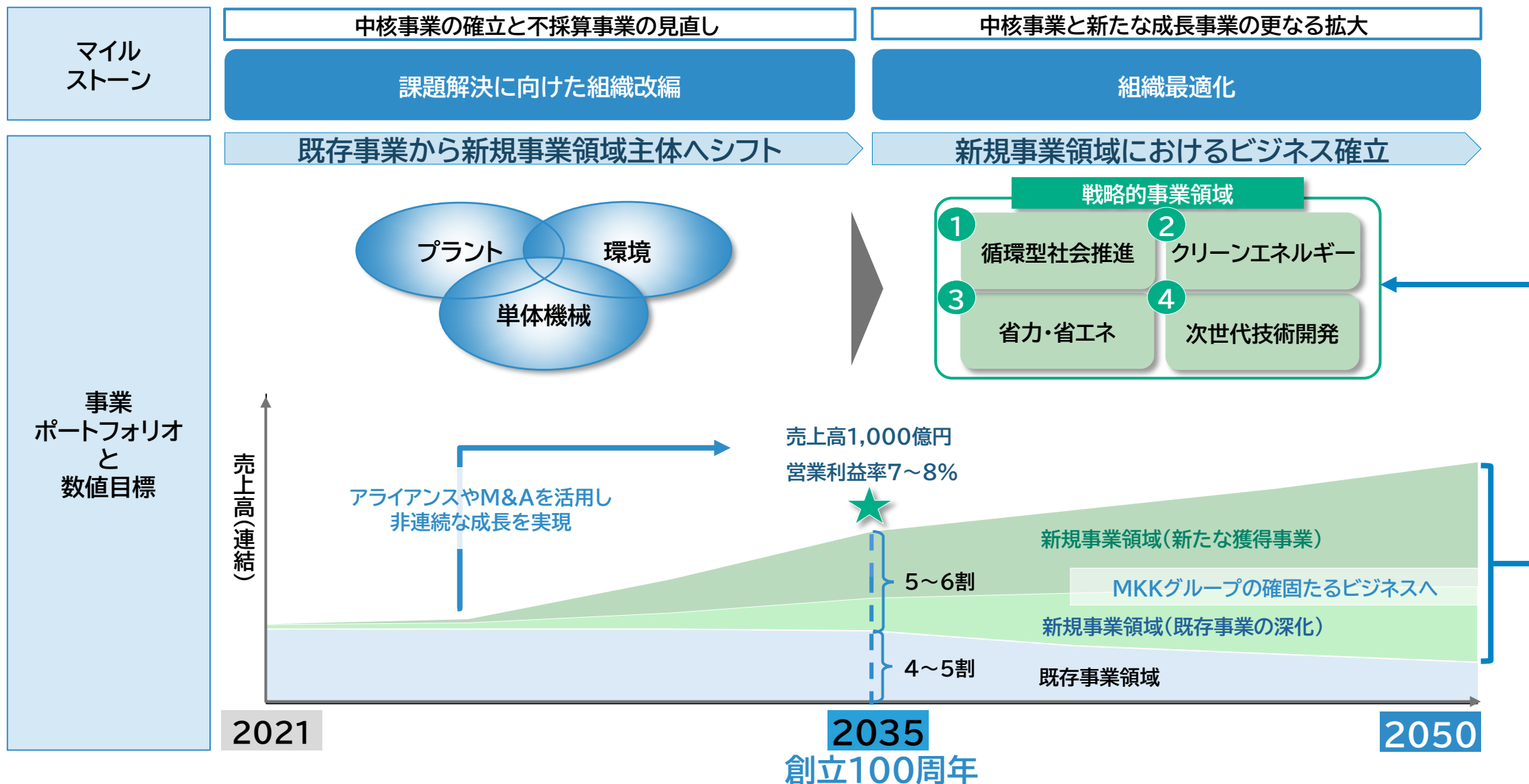
※1 Engineering, Procurement & Construction。プラント建設案件等において、設計、資材調達、建設を一気通貫で手掛けるビジネス
 ※2 当社調べ

経営ビジョン策定後の推進ステージと主要業績数値の推移

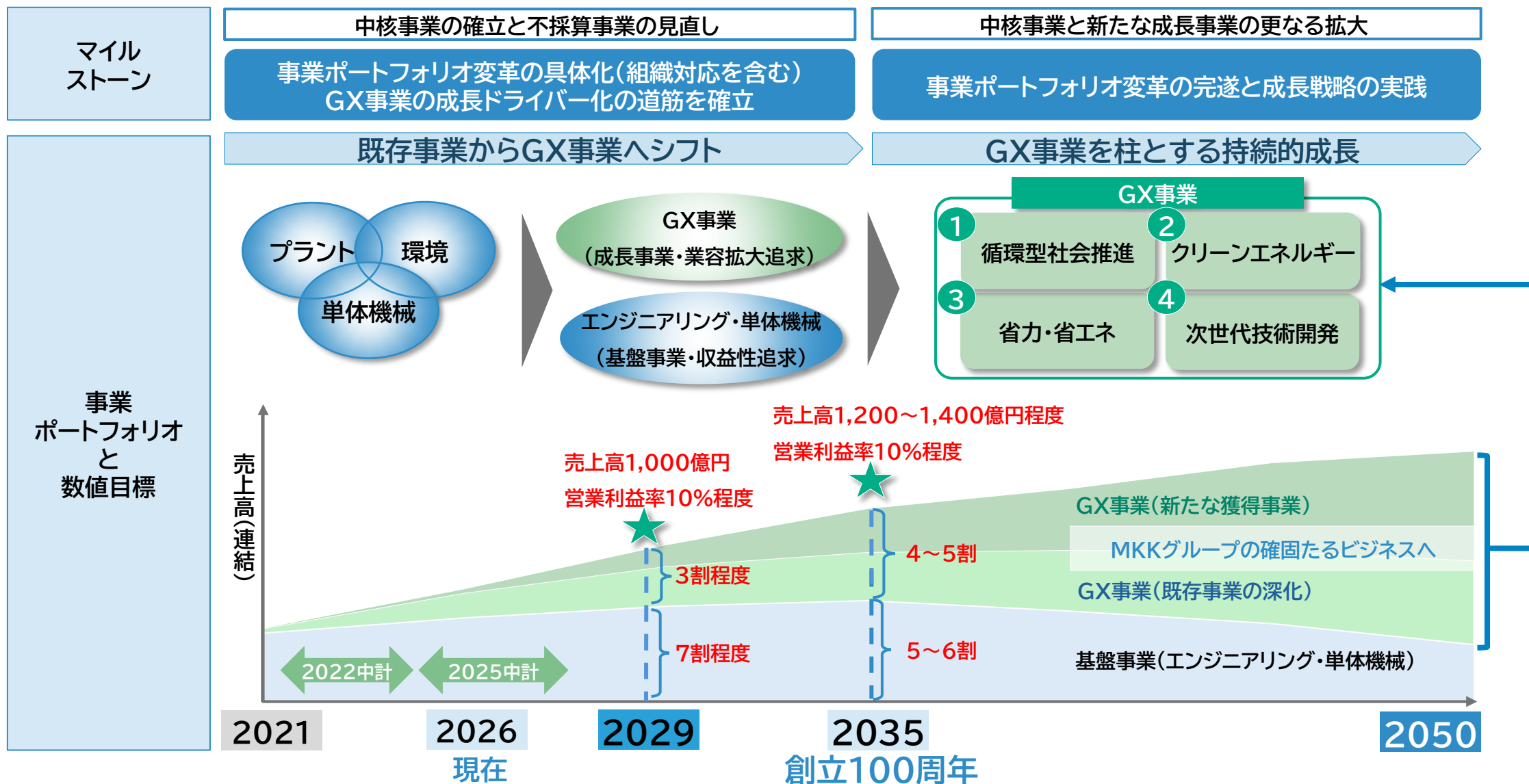
2021年の経営ビジョン策定から5年経過、実現に向けた前進に一定の手ごたえ
 足元は今中計完遂に注力し、その後も、各マイルストーン・2050年を目指して持続的成長を続けていく



【2021年策定時】三菱化工機グループ2050経営ビジョン 事業ポートフォリオ ロードマップ



【2026年アップデート】三菱化工機グループ2050経営ビジョン 事業ポートフォリオ ロードマップ



IRに関するお問い合わせ先

IRに関するお問い合わせ先

三菱化工機株式会社 企画部

お問い合わせ: ir_team@kakoki.co.jp

本資料に関する注意事項

本資料に掲載の企業、団体等の名称については、敬称を略して掲載しております。

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。



MORE Sustainable, KEEP Innovating for a KINDHEARTED Society

MKKK